

自己評価結果報告書

令和 8年 2月27日

大分県障害福祉課長 様

所在地 大分県大分市大津町2丁目1番41号
法人名 社会福祉法人 大分県社会福祉事業団
代表者 職・氏名 理事長 銅城 義則

1. 事業所の状況

事業所の名称	地域総合支援センター どんぐり	
事業の種別	児童発達支援センター	
事業所番号	4451100020	
指定年月日	2019/1/1	
連絡先	担当者名	部 薫
	TEL	0978-33-1015
	E-mail	usa1000t@jasmine.ocn.ne.jp

2. 取組時期

①保護者による評価	令和 8年 1月 9日 ~ 令和 8年 1月26日
②職員による評価	令和 8年 1月 9日 ~ 令和 8年 1月26日
③事業所全体による評価	令和 8年 2月 18日

3. 公表結果

公表日	令和 8年 2月 27日
公表の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ
	URL : http://www.oitaswo.jp
	<input type="checkbox"/> 紙媒体を掲示の上、保護者へ配布

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	地域総合支援センター どんぐり		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月9日	～	令和8年 1月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22家族	(回答者数) 17家族
○従業者評価実施期間	令和8年 1月9日	～	令和8年 1月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用児、ご家族との信頼関係の構築	・ご利用児の気持ちに寄り添いながら日々支援に努めている。また連絡帳やメール等でご家族との情報共有を図ることで、相談や状況を察して面談や電話連絡等を行っている。	・ご利用児、ご家族の思いを真摯に受け止め、困りや相談に早期に対応できるようにしている。チーム支援で体制を整えることで、適宜面談等にも迅速に対応できるようにしている。ご利用児の笑顔が私たちの喜びである。
2	教育機関との連携	・年に1回、教育委員会による『就学について』の講座により、教育機関と早期に連携することで、ご利用児と保護者が見通しを持って、就学準備に臨むことができています。また行政や保育機関と連携して早期療育に繋げた案件もあった。	・教育委員会のみならず、就学先の先生とも連携することで、ご利用児が就学した際、個々に応じた適切な支援を受けることができる。積極的に就学先からの見学も受け入れている。今後も行政や保育機関とも連携することで早期療育と就学を見据えた支援を更に展開していきたい。
3	専門職(ST)と職員間の協力体制	・専門職(ST)が常駐していることで、生活面の情報も常に保育士と共有することができ、個別で行う訓練、小集団だからこそできるSTグループ訓練もあり、個々の現状に応じた言葉や日常生活動作の獲得・支援を行うことができる。 ・職員配置も満たしている中で、ご利用児の状況に応じて垣根を越えたヘルプ体制がある。	・個別で集中できる訓練もあれば、小集団の中で他児と協力して訓練をしたりと専門職や保育士が連携したクラス分けを行い、常に最善の支援を考え提供している。 ・柔軟なご利用に対応できるように、現在、保育園での発表会や運動会等の練習が終わった後のご利用希望では、送迎の対応を直接支援する職員以外でも対応をしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流	・現在地域の方と子ども達との交流は行われていない。	・地域の方と一緒に農作物にふれる機会や他事業所の子ども同士の交流やイベントの参加等も個人情報等も踏まえながら検討していきたい。
2	地域の関係機関との連携	・併用保育園等とは、送迎の際にご利用児の情報共有をしているが、短時間での引き継ぎとなるため、相互理解までには十分に伝えきれていない点がある。	・モニタリングや担当者会議以外でも、顔の見える関係作りを意識して、状況に応じた電話連絡や訪問をしていきたい。また、来年度は併用保育園との連絡会を開催することで、情報の共有や支援の助言ができればと考えている。
3	保護者同士の交流の機会の確保やきょうだい児支援	・参観後に、子育てや児発を利用しての話等、保護者同士が交流を図る機会を年に1回開催しているが、きょうだい児支援までには至っていない。	・個人情報等も踏まえながら今後は検討していきたい。きょうだい児支援を含め、ご利用児、保護者を一緒としたイベント参加を模索していきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 地域総合支援センター どんぐり

公表日 令和8年 2月 27日

利用児童数

22家族

回収数

17家族

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	
						ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1	0	0	・授業参観で見せてもらいますが、中でも外でも十分に遊ぶことができます。 ・広くて滑り台まであるので、身体を使って沢山遊んでいる。	・教室以外にも遊戯室や園庭を活用することで安心かつ安全に、のびのびと過ごすことができるように工夫をしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	0	5	・何の問題もありません。 ・先生も多いのでウロウロしても安心です。	・現在配置職員は満たしています。今後も職員をそろえて安心してご利用いただけるようにします。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	0	0	3	・部屋がいくつもあり、その子に合わせた部屋分けやランチルームで給食だったりしています。	・基本的にバリアフリーの構造になっており、写真や絵カード等の視覚支援も多く、教室と別にランチルームもあります。ご利用児が過ごしやすいように工夫しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	0	・多い時だと月1回、親が参加する行事があり、そのたびにきれいだなと思っています。	・毎日の掃除や整理整頓を行い、できるだけ清潔に心地よく過ごせるよう努めています。また、各部室に室温計を設置し小まめに確認することで、過ごしやすい環境を提供しています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1	0	3	・専門家先生もいますし、親よりも見てくれる！！と思う事もあります。	・ご利用児の気持ちに寄り添いながら、特性に応じた支援を今後も提供し、専門性を更に向上できるようにチームで自己研鑽していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	5	・モニタリングもありますし、毎月活動予定表もいただいていますし、連絡帳でお知らせしてくれます。	・支援プログラムを踏まえた支援を提供し、日々の連絡帳等で支援内容をお伝えしていきたいと思っています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	2	0	2	・モニタリングがあります。	・アセスメントに基づいた、児童発達支援計画書を作成していきたいです。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	2	0	2	・モニタリングでこの先の支援計画を相談し決めることもできますし、提案もしていただけます。	・今後は「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」をより具体的に、記載できるように工夫したいと考えています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	3	・子どもの成長が証拠です。	・ご利用児に応じた支援計画を作成し、プログラムに沿った支援をしています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1	0	5	・毎日活動が違いますし、楽しそうです。	・毎月活動予定表を作成し、集団や個別での活動、季節を感じられる活動や静と動の活動等、日々全体のバランスを考えながらプログラムを組んでいます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	1	1	5	・今、保育園に通っていますし、下の子もまだ保育園なのであります。	・現在交流会等は実施していないので、今後検討していきたいと思っています。
保護	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	1	・きちんと説明していただきました。	・契約の際、お時間をいただき、説明をさせていただいていますが、更に丁寧に行ってまいります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1	1	1	・毎回いただいています。	・丁寧に説明を行ってまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	1	1	0	・相談会や授業参観等ありますし、いつでも相談できます。	・ペアレントプログラムのご案内、また親子ふれあい通園、保護者講座、参観日等を企画し開催しています。今後も継続して参ります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14	2	1	0	・連絡帳を通じてですが、毎日の成長がすごく伝わってきます。	・日々の連絡帳にご様子や活動内容を記載しています。今後も保護者様と顔の見える関係を、築いていけるように努めていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1	3	2	・いつでも相談できるので助かっています。	・保護者様と顔を合わせる機会が少ないため、面談や子育て相談日等を定期的に行ってまいりたいと考えています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1	1	2	・私の悩みをいっぱい解決してくださりました。	・今後もご利用児、保護者様の思いに寄り添いながら、支援を行ってまいります。

音 へ の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	5	0	3	・授業参観もありますし、運動会などのイベントもあります。 ・同じような悩みを持つどんぐりを利用している家族ともしっかりと交流を持って悩みを共感し合えるようになってもらいたい。	・参観後に、子育てや児発を利用している話等、保護者同士が交流を回る機会を年に1回開催しています。今後は、より家族間でも交流が図れるように、検討していきたいと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	0	2	・悩み相談は結構させてもらいました。1つずつ寄り添いながら解決していただきました。	・ご家族の困りや相談の申し入れを、迅速に対応することができるように努めています。また、ご利用児、ご家族の様子を察して連絡を差し上げることで、早期のアプローチができるように心がけています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	1	・送迎を利用しているとなかなか会うことはなくなってしまうのですが、いつでも相談できます。	・ご利用児の気持ちに寄り添いながら、意志の表出、伝達を支援します。ご家族とは、連絡帳や電話、メール等で状況に応じた情報の伝達、共有に努めています。
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	3	0	4	・ホームページに載せる写真の許可をきちんとと親に取っていたりとか小まめに更新してくれます。	・行事や活動の様子等をご家族の了承を得た後、ホームページで発信しています。併せて自己評価の結果についても掲載されています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	1	・私は自由に載せてもらって大丈夫なのですが、写真を使いたいのですが…と毎回きちんと連絡があります。	・個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています。広報誌等の掲載も毎時同意を確認し、また契約時に個人情報取扱書をいただくようにしています。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	1	3	・毎月防災訓練をしていますし、子どもは楽しんで走っているようです。	・法人内の各種マニュアルに沿って訓練を実施しています。また保護者様への安全計画の説明、配布をしています。今後は訓練後に連絡帳等で実施をお知らせすることで、ご家族様に安心してご利用いただければと考えています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1	0	7	・毎月きちんとされています。	・法人内の各種マニュアルに沿って訓練を実施しています。また保護者様への安全計画の説明、配布をしています。今後は訓練後に連絡帳等で実施をお知らせすることで、ご家族様に安心してご利用いただければと考えています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	2	0	2	・安心できなければ預けることはできません！！	・保護者様への安全計画の説明、配布を実施しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1	0	3	・怪我はなくても何かあればすぐ伝えていただいています。	・事故、怪我また発熱やいつもと違う様子があれば、電話またメール等で速やかに連絡し、詳細を報告しています。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0	・毎日楽しく通っています。朝別際際に泣いてもすぐにケロッとしています。 ・最近は車から降りて自分で歩いて施設まで行っています！	・子どもたちの笑顔が、私たちの喜びです。毎日安全に過ごせる環境を整え、安心して通っていただける事業所を今後も目指していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1	0	2	・先生方が大好きですから。重いのによく抱っこしてもらっています。 ・ごはんもよく食べているようです。	・子どもたちの気持ちに寄り添いながら、お友達と一緒に遊びや学びをおして、楽しく登園することができるようにチームで今後も支援をいたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	2	0	2	・満足しています。でなければ違う所へ行かせています。	・温かいお言葉をいただき、本当にありがとうございます。日々、子どもたちの笑顔に元気をもらい、保護者様に支えられています。今後も発達期の貴重な子どもたちの成長を、ご家族と一緒に見守り、支援させていただきたいです。これからも子どもたちの笑顔を大切に、心に寄り添いながら、楽しく成長する事業所（どんぐり）となれるように精進して参ります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	地域総合支援センター どんぐり				
				公表日	令和8年 2月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	・16名～18名ほど利用される時は、ブロックの部屋、走る部屋等、分けたりした方が良いと思う。	・子どもの状態や活動に合わせて、引き続き活動内容や教室の使い方を工夫していく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0	・配置基準は適切であり、職員間の連携を図りながら、子どもの状態に応じて必要であれば他部署から応援を呼んでいる。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0	・バリアフリー、廊下のミラー、視覚支援だけでなく、ご利用児の移動時には職員の配置にも配慮している。	・写真や絵カードによる視覚支援を取り入れることで、見通しを持ち安心ができる環境作りに努めていきたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	・毎日の掃除や整理整頓を行い、できるだけ清潔に心地よく過ごせるようにしている。また室内は活動に合わせて教室や環境を変えられるように設定している。各部屋に室温計を設置し小まめに温度調節することで、快適な室内環境を維持している。	・例年の温暖化に伴い、空調のない廊下やトイレの室温にも引き続き留意していきたい。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	・子どもの状態に応じて、個別での対応や場所を整え支援している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	0	・毎月1回事業会議を開催し、ご利用児の支援について検討・周知をしている。	・様々な勤務形態がある中で、支援の振り返り等職員が積極的に参画することで、より業務改善が進み活性化できればと考えている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	・送迎時や連絡ノート等を通して保護者のご意向を把握し、前向きな業務改善に繋がるように努めている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	・日々のミーティングや業務終了後に、支援の振り返りを行う中で、意見を把握しながら、業務改善に努めている。	・様々な勤務形態の中であるが、コミュニケーションをとって意見を集約し、業務改善に反映していきたい。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	0	・月に1回外部から、第三者委員を招いて生活相談日を行っている。 ・第三者による外部評価は行っていないが、前年度より第三者委員の方の協力を得て、事業所の総括結果に対してのご意見をいただいている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	・勤務を調整し、研修を受講しているが、ご利用時間内での研修を受けることは難しく、夜間や休日の時間外に受講することが多い。	・中核的機能からも研修の情報提供が増えて、時間外でも申し込み受講ができたりと、研修の幅が広がった。
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0	・児発管が中心となり、モニタリング会議、アセスメントを行い、個別支援計画を作成し、定期的に評価見直しを行っている。	・今後ご利用児の状況や保護者の意向を反映した計画書を作成し、経過を観察しながら、ニーズや課題の分析を考えていく。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	・チーム職員からも支援状況や意見を聞きながら、児発管を中心に計画作成している。	・引き続きチームで連携しながら、ご利用児の状況を把握し、保護者の意向を踏まえて支援計画を作成したいと考える。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	・日々の支援の中で、計画に沿った支援をチームで共有している。	・引き続きチームで連携しながら、情報共有の中で計画に沿った支援の提供を行いたい。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0	・事業所で決められた標準化された様式を使用している。	・より丁寧なアセスメントを行ってきたい。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	・ご利用児の発達段階とニーズに合わせた計画内容を策定している。特に就学前の年長児には、就学に向けての相談も家族支援の中に設定している。また、併用保育機関とも連携して状況に応じた移行支援も視野に入れている。	・今後は併用保育機関との連絡会や見学の受け入れを行っていく中で、現状の共有を行い、更なる支援内容の具体化を図っていきたい。

支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	・日々チーム内で、ご利用児の発達段階等に 応じた活動プログラムを考え、クラス編成を 行っている。	・活動のねらいを共有し、様々な体験や活動 を提供したいと考える。また、法人で作成し た活動集を参考に活動にも取り入れた。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	・日々5領域に沿った活動プログラムを記録 (活動内容・クラス編成・様子等)に残すこ とで、内容が固定化されないよう工夫して いる。	・活動のねらいを共有し、様々な体験や活動 を提供したいと考える。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	・個別及び集団での療育活動を行っている。 ・集団での支援に併せて個別支援についても 支援計画の中に挙げている。	・個別支援の充実と、小さな集団での活動に 慣れる、入ることができるような支援計画を 今後も作成できるように努めたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	・毎朝のミーティングで支援内容、クラス編 成等を話し合い、共有している。	・様々な勤務形態の中であるため、ボード等 の職員間の共有ツールを使い、情報の共有を 図りながら、チームで連携して引き続き支援 を行っていききたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	・限られた時間の中でミーティングを行い情 報共有に努めている	・様々な勤務形態の中であるため、チーム全 員が一同に会しての情報共有は難しいが、共 通のツールや児発管が中心となり、もれのな いように確認をしてきたい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	・記録はその日のうちに行い、ご利用児降園 後のミーティングで検証につなげている。	・職員が同じ視点で記録できるように、育成 をしていくことが課題である。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	・定期的なモニタリングとフィードバックを 行っている。	・余裕を持って、丁寧な見直しができるよう にしていきたい。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	児発管が参画している。	・出席した職員は会議の伝達を確実に行って いく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0	・月に1回協力医による往診があり、ご利用 児の健康観察ができています。健診前は保健師 と連携を図り早期療育に繋がった案件や、行政 とも連携し保護者支援を行う中で療育に繋が った案件もあった。	・互いに困った時に、連絡の取りあえる相談 支援事業所や行政、教育機関もあり、心強く 感じている。今後もこの関係性を維持しなが ら更に他事業所とも連携していきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	・送迎時は短時間で引き継ぎで、相互理解 が確実にできているとは言い難いところも あったため、必要に応じて電話をしたり、併 用保育先に足を運んだことで情報を共有した り、ご利用児の様子を見学してもらう中で、 移行支援の推進をした。	・必要に応じて電話連絡や訪問をすること で、顔の見える関係をより築いていけるよう に努めている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	・教育委員会による就学相談会や、見学の 際支援内容等の情報共有を図っている。	・今後も就学先の見学を受け入れたり、教育 委員会と連携を図ることで、就学移行期の支 援を進めていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	11	0	・当センターが主催となり、ペアレントプロ グラムの開催や保育所等訪問支援を行って いる。巡回支援では、保育機関、行政とも連携 して早期療育に繋がったり、支援の助言を行っ た。	・保育機関との連携については、来年度から 連絡会議を充足し相談対応することで、支援 の助言や情報の共有を図りたいと考える。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	11	0	・外部研修に参加する機会はあり、その際専 門家等に質問し、助言を受けている。	・専門家や専門機関等から助言を受ける機会 を設けることで、質の向上につなげていき たい。外部研修に参加することで、参加者と繋 がりを持ち連携ができればと考える。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	11	0	・地域総合支援センターの職員が参加して おり、復命で情報共有を図っている。	・地域総合支援センターの職員が委員となり 出席し、その復命を受けて情報共有してい る。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11	0	・他のこどもとの活動は今後どのようにして いくのが模索中である。	・現在交流会等は実施していないのが、中学 生の職場体験等を受け入れた。今後も引き続 き検討していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	その都度状態の共有がなされている。	・主に連絡帳やメール等の連絡で、日々の様 子は伝えている。必要に応じて電話をし たり、モニタリングの機会に情報を共有して、 共通理解を深めている。

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0	今年度もペアレントプログラムを年間2クール実施した。託児もあり、参加がしやすいとの言葉をいただいた。	・ペアレントプログラムは継続して行うことで、子育ての視点が変わったと2回目を受講された保護者もいた。引き続きチラシ等で情報提供をし、実施していきたい。開催時間について子どもの育ちの観点からも、昼間の時間帯や早めの時間設定を検討したい。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	・ご契約の際、時間をいただき説明している。	・引き続き、丁寧に説明を行っていきたい。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	・児発管がご利用児、保護者からアセスメントをし、支援計画を作成して支援の統一を図っている。	・ご利用児の意向、最善の利益を最優先に今後も立案していきたい。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0	・児発管が説明し、同意をいただいている。	・引き続き、丁寧に説明を行っていきたい。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	・連絡帳やメール等での質問や相談にも迅速に対応するようにしている。ご利用児やご家族の状況察し、こちらから連絡を入れ相談を聞いたり、助言をしている。	・適宜、相談や面談日を設けることで、早期解決に向けて働きかけたい。顔を合わせる機会が少ないので、連絡帳やメールだけではなく定期的な電話連絡や面談も今後検討したい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	0	・参観後に、子育てや児発を利用したの話等、保護者同士で交流を図る機会を年に1回開催している。運動会やバスハイク等、親子通園日も設けている。	・参加人数や個人情報も加味しながら、今後は検討していきたいと思う。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	・連絡帳やメール等での質問にも迅速に対応するようにしている。ご利用児やご家族の状況察し、こちらから連絡を入れたり、面談を設定している。	・今後も相談や面談日の希望が聞かれた時は、迅速に対応できるようにチームで体制を整えていきたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0	・毎月のお知らせや、連絡帳をとおして活動の様子をお伝えしている。行事や活動の様子等は、ご家族の了承を得た後、ホームページで発信もしている。緊急時の連絡先も適時更新している。	・今後も個人情報の取り扱いには十分に留意し、活動の様子等を発信していけたらと考える。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	法人からの行動規範チェックを定期的を実施し、取り扱いについて確認をしている。	・引き続き、個人情報の取り扱いには、十分に留意する。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	・ご利用児には、発達段階や特性に応じた方法で意思疎通を図っている。・保護者とは、連絡帳やメール、必要に応じて電話で情報共有している。	・意志の伝達や共有については、今後も配慮し工夫していきたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	0	・地域総合支援センターでは、毎月1回すまいるマルシェを実施。今年度は大型マルシェを年に3回実施することで認知も広まり、地域の方も足を運んでくれている。	・今年度は大型マルシェで子育て相談会を開催。マルシェに遊びに来た際、子育てのお話と一緒に遊びをとおして、地域の方とのふれあいが行えた。今後は、茶話会のような場も検討している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	・マニュアルも整備され、必要な訓練を実施している。	・引き続きマニュアルの徹底と、訓練をした際は、連絡帳等でご家族にも周知を図りたい。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	・定期的な訓練を行っている。	・保護者へ計画内容を周知していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	・見学の際、アセスメントの中で聞き取りをしている。予防接種の聞き取りはしていないが、かかりつけ医は把握している。	・ご利用児の状況に応じた医療的な支援の統一については、今後も職員間で確認し共有していく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	・医師の指示書に基づく対応はしていないが、保護者にアレルギーの報告書の記入をお願いしている。	・報告書の内容については、職員間で周知徹底している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	・安全計画に基づいた研修、訓練、安全点検等は適切に実施をしている。	・引き続き、丁寧に説明を行っていきたい。ご利用児が安全安心に過ごせるように管理をしていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0	・安全計画については今年度ご家族への周知を図った。	・新規ご利用児については、契約時に説明を行っていく。
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	・地域総合支援センター内でリスクマネジメント委員会を毎月実施し、検証している。	・ヒヤリハットの検証と共有のみならず、対応策が実施できているかを確認していく。	

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会を設置し、少なくとも3ヶ月に1回以上開催し、ケースの周知や今後の対応の協議等をしている。 ・地域総合支援センター内で虐待防止研修を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気づきの視点を多く持ち、事故に対する再発防止策を講じ、適切に対応していきたい。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、対象児はいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束について、具体的な解除方法の事例等を共有する研修を行うことで、今後も理解を深めていきたい。